

水雷艇驅逐艇曙本邦へ回航  
ニ関スル件

軍務局長



軍務課



造船課



機關課



兵器課



別紙本紙自第... 國航... 進...

候覽



經理局



量左部



次長



水路部

清

四月二日

元曙田航... 長河... 早...

軍務局長 諸... 殿

第一局 第二局 第三局



医士局

第一課長 第二課長



海軍第一〇號

海軍

驅逐艇囑白英園至日本國航記事

1022



曙艇自英至日本回航記事

領収及軍艦旗掲揚ノ事

本艇ハ英京倫敦「パロロ」会社ニ於テ製造シ三十二年六月三十日落成  
告ゲ今年七月三日領収ス然レモ當時後發員未ク到着セザル時ナリシヲ以テ  
到着迄ハ該会社其保管ノ責ニ任セリ後發回航員ハ今年六月三日郵船会社  
汽船讚岐丸ニテ横濱出發今年八月一日英京倫敦着今八月二日先發員ニ導  
カレ本艇ニ乗艇直ク三層艦旗ヲ掲揚ス時正ニ今月二日午後四時ニシテ本艇ハ  
該会社附近ノ「ウエストイレデヤドック」ニアリ

進水及公試運轉

本艇ハ「パロロ」会社ニ於テ製造シタル我水雷駆逐艇電雷等ト全ク全種ノ  
艇ニシテ明治三十一年二月廿二日起工廿二年四月廿五日進水シ五月四日公試運

轉ヲ施行シタリ

公試運轉ノ時本船ノ状況及ノ如シ

吃水 前部五呎四寸 後部五呎六寸

噸數 三一、二、五噸

平均回轉數 四三五、六六

平均速度力 三一、一六

右公試運轉ハ「テロウズ」河畔「シヤ子ス」ノ前ニ海軍里程測定所

ニヨル

本船碇泊場ヲ「ウエストイニデヤドック」ヨリ「ケリニハイス」ニ移ス

「ウエストイニデヤドック」ハ「ヤロー」会社ニ最も近キ繫船所ニシテ陸上ニ於テラ会社ト互

ニ相交通シ得ヘキヲ以テ航海諸般ノ準備ニ就キ該社ト交渉スルニハ最も便利ノ

地ニシテ露品搭載ニ於テモ亦頗ル便リ得ルヲ論ヲ待タズ然レモ其附近ハ所

謂倫敦ノ片田舎ニシテ加フルニ各玉船舶常ニ奥附近ニ輻湊スルヲ以テ殆レト惡

水夫ノ巢穴ト云ツラ可ナリ故ニ土地風俗頗ル悪シク大ニ警戒セリ要スルノ地ナリ本船  
ハ八月二十三日諸般ノ準備ヲ終エ右船渠ヲ出テ水夫ノ巢穴ニテトムスレ河ヲ  
下リ全河「カレ」バスエド「上流」カレ「ハイ」ス「投錨」ス本船当碇泊所ニテ  
磁差測定ヲ行ヒ諸配置ヲ成備シ諸倉庫ヲ整ヘ其他長途ノ航海ニ便利  
シ得ル限リ準備整頓セシメタリ本船ニ近ク英「水雷」駆逐艦一隻碇泊スル  
アリ該艦ハ新造艦ニテ當時全速力試験ニ於テ莫ニ三十二海里ノ大速力ヲ出  
シタリト云フ然レモ其機「油」ニ少許ノ故障アリレ爲メ猶ホ修理中ナリシ

### 磁差測定

八月二十五日午前十時投錨出帆「ライ」ムス「河上」ニ於テ教回々轉航行シ磁差測定  
ヲ施行シ今日午後三時四十分右舷「元」錨地ニ投錨ス

右磁差測定ハ英「玉」軍港「ホ」ワ「オ」ス「對岸」アル「アイル」オ「フ」ホ「ワイト」島「ア」ツ  
トケ「会社」ヨリ二人ノ磁差測定人来リ漸々四時間ニ於テ司令塔内ノ羅盤ノ外

他ノ三羅盤ヲ均シテ一ツノ磁差ヲキテ正シタリ會ニシテレモキハ一度半或ハ度  
 ニ過キズ故ニ航海中本船ノ如キ動搖甚シク精密ナル示針ヲ採ル能ハカルモノハ先  
 ツ磁差ナキモノト見ナシテ差問ナキニ至レリ然レテ一甲ノ磁差測定ハ誠ニ有レテ  
 測定ニシテ吳玉出發以來大西洋ヲ南下シ地中海ヲ東行シ紅海ニ至ツテ再ビ南  
 行シ印度ニ於テ再ビ東行シ又地中海ニ於テ非常ニ猛烈ス電雷ノ中心ヲ過  
 過シタルニ係ワラズ漸ク「マラッカ」海峡ニ至リテ始メテ磁差ニ變化ヲ生シタルハ是  
 實ニ稀有ノ事ニシテ其間幾度カ航路ヲ轉シテ荒天ヲ避クル「ア」アリシモ其  
 針路ハ常ニ必ズ其目的ノ港ニ指示シテ未ダ一回モ誤マル「ア」アリシハ實ニ本船ノ  
 好運ト云ハルヲ得ズ「マラッカ」海峡ヨリ日本ニ到ルノ間モ又一是ノ磁差ヲ生シタルノ  
 ニシテ横須賀者看遊ハ一「大」ナル變化ヲ見認メ  
 右羅盤ハ先着ノ水雷艇逐艇ニ備付アルモノト全種ノモノニシテ羅盤杯ニハ皆液俵  
 ヲ滿タシアルヲ以テ水雷艇ノ如キ震動甚クシキ船艇ニハ實ニ有功ナラント信ス

本艇ノ性状



一本艇ハ波ヲ艇首ヨリニ突位ニ受ル片ハ動揺少ナク能ク前進ヲ持續ス  
ルモノ、加シ其方向艇首ヨリ三四突ニ至レバ動揺甚クシテ横波トナレバ最も甚  
カシ然レモ「ピー」後ニ突以上ニ至レバ荒天ト云モ動揺少ナク莫艦ニ波ヲ受ル  
ル片ハ最も動揺少ナシ故ニ荒天ニ降シ如何ニシテモ前進ニ危険ナル片ハ頻ク「ピー  
ム」後ニ突以上ニ波ヲ受ル如クセバ安全ナリ

一高波ニ向ツテハ推進機ノ空轉甚シク故ニ回轉ヲ増スル能ハズ

一高波ニ向ツテ航行スル片ハ前部艇橋迄ハ常に波間ニ埋没セラルヲ以テ

荒天ニ向ツテ前進スル片ハ前部三門ノ火砲ハ強シト之レヲ使用スルヲ能

ハザルヲアラレ

一要下出發「コロボー」ニ回航セルトスルヤ百六十餘噸ノ石炭ヲ満載シ上甲板

上三十噸ノ石炭アリシガ故航行中波ニ對スル本艇ノ性能平常ト大ニ異ナル

ヲ幾見ヨリ則チ波濤ニ對シ艇体ノ動揺大ニ減ジ又尤右ニ傾斜スル度幾

モ比較的大ニ減少セタリ

一「ソニー」ニ「クロフト」シ「会社」ノ「水雷艇」駆逐艇ハ「汽罐」三「個」ヲ有シ「ソニー」「ロ」シ「会社」ノモ  
ノ「所」チ「本艇」ノ「加」キハ「汽罐」四「個」ヲ有ス而シテ「回艇」中ハ「各艇」共「汽罐」二「個」ヲ使用ス  
ルモノトスレバ「ソニー」「ロ」シ「艇」ハ「全カ」ノ「年」分ヲ「使用」シ「ソニー」ニ「クロフト」シ「艇」ハ「全カ」ノ「三」分  
ノ「二」ヲ「使用」スル「割合」ナリ故ニ「平均」十「五」六「海里」ノ「速カ」ヲ「疾走」スル時ハ「ソニー」「ロ」シ「艇」  
ハ「ソニー」ニ「クロフト」シ「艇」ノ「如ク」永ク「其速カ」ヲ「持續」スルハ「非常」「困難」ナリ

回航中諸海洋状況

英吉利海峡

倫敦ヨリ「ホーツマオス」ニ至ル迄ハ天気頗ル快晴ナリシモ全  
「聆」ヨリ「佛」ノ「アレスト」ニ航セントセシキ「佛」玉ノ北岸ニ於テ險悪ナル  
天候ニ遭遇シ不得已英玉「ファルマオス」港ニ寄港ス共、險悪ナル  
天候ハ連日續渡リタルモ晴雨計、上昇ト共ニ亦夕快晴ニ復ス

(天候表参照)

ビスケー湾

本艘「佛」玉「アレスト」埠港ニ碇泊中ハ恰モ「ビスケー」湾ノ天候  
荒悪ナル時ナリシヲ以テ晴雨計上昇シ天候収マリタルヲ見テ  
該湾ヲ航過シタリ故ニ頗ル平穩ナリシ(天候表参照)

大西洋南国西岸

水路誌ニ記載シタル西方ヨリ起来スル荒天ニ会合シタルモ早

ク之レヲ葡玉「リスボン」ニ避ケ後々天候是モルヲ待ツテ又航過シタル  
ヲ以テ無事通過シタリ

地中海「リオニ」湾

非常ニ猛烈ナル落雷ニ遭遇シ又疾風雨ノ荒天ニ會フ

印度洋亞利比亞海

北東信風時ナルモ餘リ平穩ナラズ風力ニヨリ三或ハ四ニ至リ又時ト  
シテハ南風及「南西風」吹キ来リ其力ニ至リシ「アリ」テ来リ平穩  
ナル北東信風時期トナラザルノ時ナリ

印度洋「ベニカル」湾及「マラッカ」海峡

真ノ北東信風平穩時ニシテ全回航中最モ愉快ナル航海ナリシ

支那海

北東信風強吹時ナルヲ以テ新嘉坡ヨリ香港へ途中柴棍へ  
寄港スルノ已ハヲ得ガレニ至シリ

台湾海峡

是レ又北東信風強吹時ナルヲ以テ全路凡テ荒天ニ会シタリ而  
ノ香港ヨリ佐世保ニ至ラントシテ遼ニ汕尾厦門東引島及並山  
列島ニ難ヲ避ケサルヲ得サルニ至レリ而ソ全回航中最モ危険ナ  
ル荒天ニ遭遇シタル所ハ則チ東引島並山列島間ノ航海ニ  
シテ艱危ノ損害最モ多キモ亦タ其行ナリシ

潮流

印度洋「アテン」ヨリ「コロシボ」ニ至ルノ間ハ毎日二十哩内外ノ南流ニ  
会シ「ベンガル」湾ニ於テハ「セイロン」島東北附近ニ於テ四十哩ノ南流  
ニ会シ又「ヨリ」マラッカ」海峡ニ至ル迄テ毎日十五哩内外ノ南流ニ会ス  
支那海ニ於テハ一時間一哩半乃至二哩ノ逆潮ニ会シ交趾支那  
ノ沿岸ニ於テハ一時間一哩ノ逆潮ニ遭遇ス

台湾海峡ニ於テ一時間二哩内外ノ逆潮ニ遭ヒ東引島ヨリ並山列

島ニ向ヒテ航行シタル日ハ四渥内外ノ強キ逆潮ト怒濤トニ遭遇シタル  
コ以テ船ノ前進實ニ遅緩ナリシ

### 糧食

船員ノ糧食ハ先ツ充分ナリシ然レモ牛肉ハ出港ノ翌日ノ漸ク貯  
（得ル）ノミニシテ亞下出港ノ時ノ如キハ全牛肉出港翌日ノ夕刻已ニ  
腐敗シ始メタリ如斯地方ニ於テハ牛肉ノ如キハ買入後直チニロースビー  
フニナレ或ハ豚肉ハ塩漬トナシ貯藏シタリ故ニ各寄地ニ於テハ糧食  
ノ不足ヲ感ジタル一ナキモ之レガ貯藏ニ就テノ困難ヲ感ジタリ

### 淡水

本船飲用水罐ハ總計三噸ノ清水ヲ貯ヘシ中ノ航海中ハ蒸  
餾器ニテ充分ニ清水ヲ得ヘキコト以テ淡水ニハ百毫モ不足ヲ感ゼズ  
各室ハ水雷艇トシテハ先ツ充分ナリ然レモ少シク風波ニ向ツテ

### 衛生

航行スルトキハ前部水兵室ノ如キハ輾轉スル毎ニ前部艇体  
波中ニ埋没スルコト以テ總テ空氣ノ流通スヘキ空隙ハ海水ノ浸

入り防カシガ為ソ密穿スルガ故ニ其室内ノ空氣腐敗シ且臭言  
語ニ及セザルニ至ル

紅海航行中及亞丁港碇泊中多數ノ下痢患者アリシモ其他ノ回  
航中ハ葉負凡テ健全ナリシ

自英國「ライムス」河「ケリニハイス」至横須賀軍港

総航程

七万五千六百九拾五哩

総航行里程

七万五千六百九拾六哩

航海時數

五拾六日拾四時拾八分

碇泊時數

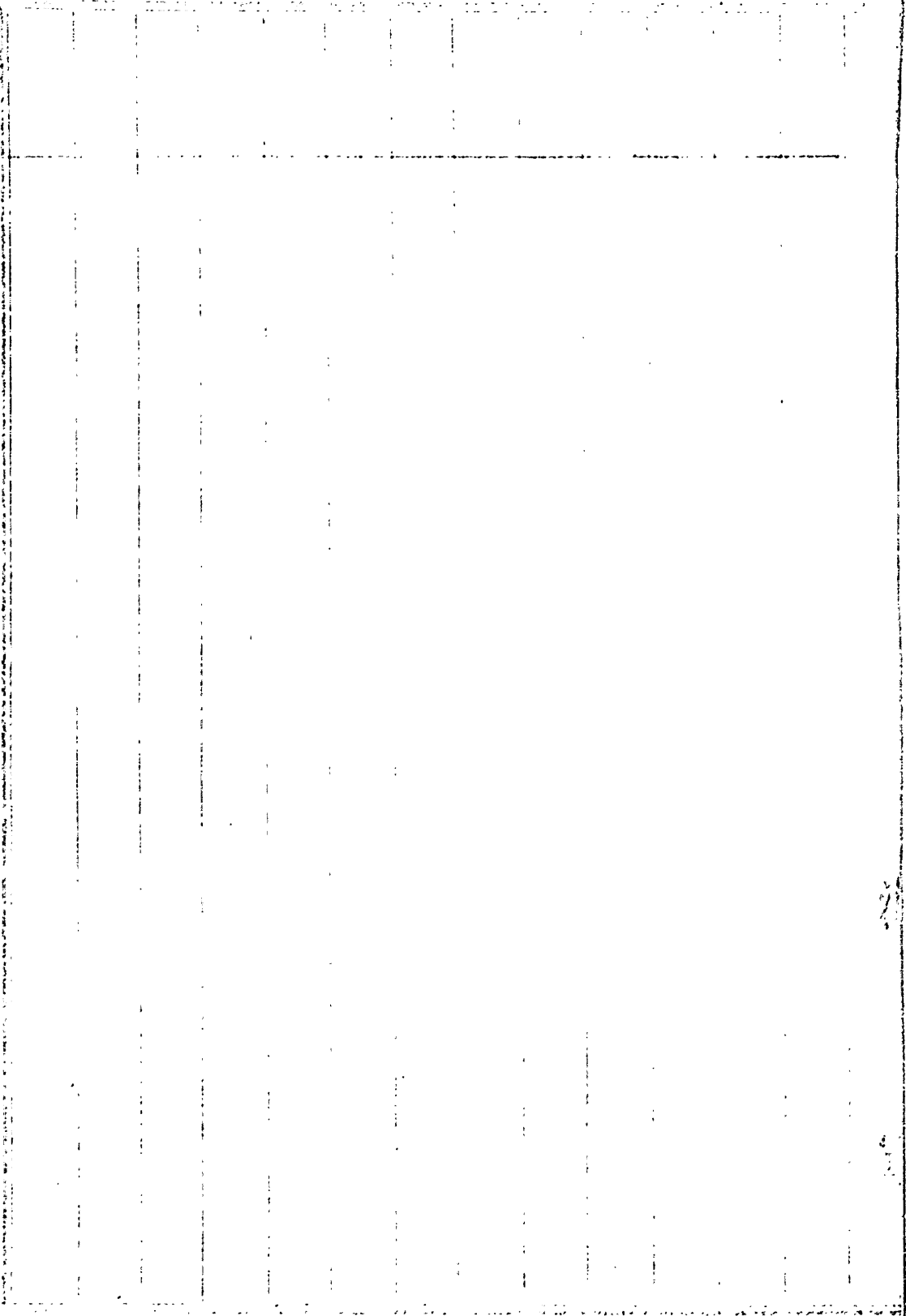
百〇六日九時九分

平均速度

毎時九哩七六六

石炭総消費

八拾貳万六千貳百七拾五



1035



田畝中各地石炭淡水水先案内科一覽表

地名	石炭 搭載量	淡水 搭載量	水先案内 記号
ウエストイン デヤドック	八拾五トン	五五トン	「ウエストインデヤドック」ヨリ「クリニハイス」迄四航
クリニハイス		三九トン半	「クリニハイス」ニ於テ「コニパス」修整ノ時
アルマオス	四拾トン	九トン	「アルマオス」港ヨリ港内迄
プレス	三万五千キロ 一磅五志七片	六トニ一志六片	
ボウトマオス	拾トン	十トニ	「ボウトマオス」出入港ノ水先科
リスボン	拾四志	十トニ	
ジブラルター	七拾トン	八トニ	
バアセロナー		七トニ	
ツーロシ		八トニ	單港部ヨリ航行
ネーポルス		十トニ	
ソワレナ		五トニ	

モルタ	ウエルス 七拾トシ	七拾吉志	拾五トシ	軍持部 祝儀		
ポートサイト	上等ウエルス 七拾四トシ	七拾三志	拾吉トシ	三志		
スエズ			拾トシ	四志		
アデン	ソエルス 百七トシ	七拾高六片	羨銅水 九十九百六トシ	百六トシ 五志	拾ルービー	「アデン」入港ノ際水先科
コロシボ	カーチア 六十五トシ	三拾吉志	九十九百六トシ	拾三志六片	拾ルービー	「コロシボ」出入港水先科
新嘉坡	カーチア 百十トシ	五拾三志六片	二五三トシ	吉州	拾三志六片	「ポートヨリ」タビヨシバ「船渠」往復水先科
サイゴン	三池 二十五トシ	三十四志	十トシ	軍持部 祝儀	「ポートヨリ」タビヨシバ「船渠」往復水先科	
香港	金田 六十トシ	二十四志	二拾三トシ	三十仙	「ケト」セントピーロスヨリ西貢ニテ水先科	
厦門	市村 十三トシ	二十ニ志	五トシ	五十銭	「西貢ヨリ」ケトセントピーロスヨリ西貢ニテ水先科	
	大辻 八トシ	二十三志				

稷士運河通過税

一佛貨 千貳百八拾九法貳拾八山  
 併貨 千貳百八拾九法五拾八山  
 運河通過税 全簿噸數百四拾貳噸大貳  
 九法

併貨五拾七山

運河滯泊料二日分

百四拾貳噸六貳  
連日連噸二拾貳山

自「ケリニハイス」至「キール」

航程七三哩

航行里程七三哩

九月十日午前八時二十三分水先人ヲ乗艇セシノ後錨出艇「ライム」河  
ヲ下リ大船ノ航路ヲ採リテ英西南岸ニ沿ヒ今日午後四時「キール」ニ投  
錨ス錨地ハ全所大棧橋ノ南方貳鍵

天候

晴天ニシテ頗ル平穩唯碇泊中潮流ト風向ト其方向相異ナルヲ以  
テ終夜艇体ノ動搖甚クシ

自「キール」至「ホーワマス」

航程一一五哩

航行里程一一五哩

九月十日午前五時投錨出艇英國南岸ニ沿ヒテ航行シ午後三時五  
十分「ホーワマス」埠頭港々口ニ至シバ埠頭水先人乗艇シ全四時談  
港「キレカスステヤ」前第二浮標ニ繫留ス

天候

航海碇泊均頗ル晴良

訪問

鎮守府司令長官、埠頭司令官、陸軍司令官

記 事 軍 艦 油

「トラファルガー」「トリバル」「ウィクトリ」等其外砲艦水雷駆逐艦等数隻  
当港記事ハ既ニ先着、我諸艦艇ノ報告アリタルヲ以テ今唯々其一  
般ヲ速ブルニ止ソレトス当港ノ防備ハ之レヲ外見上ヨリ見ルハ未ダ甚  
カ堅固ナラザルモノ、如シ然レハ港内出師準備ノ整備ニ至ツテハ又々突ニ  
驚クベキモノアリ

「揚船台其数五」「トライドック」其数拾五其他豫備艦ノ繫留場ハ  
各其種類ニ從ツテ繫留地ヲ作り或ハ機械修理ノ艦艇ノ入ルベキ  
モノアレバ又「儀装」ニスル艦艇ノ入ルベキモノアリ又「一尋」戰鬥艦「ロシ  
ド」ハ古時製造中ニシテ其「キール」ヲ掘付シヨリ僅カニ十八ヶ月ニシテ外  
部ノ甲鉄板今將ニ取付終ラシトス。

造船所對岸密品庫アリ庫内各艦艇ニ給與スベキ以テノ物品ハ密品ニ各  
區劃ヲ異ニシ準備整頓セリ而シテ水雷艇ニ至ル迄テ各其密品ヲ區  
別シ且ツ駆逐艦及ヒ水雷艇ニ給與スベキ食器ハ大軍艦ト異ニシテ凡テ



金属製ノモノニテ破壊ノ恐レナキモノヲ撰ミ又令種ノ艇ニ給與スベキ  
 ビスケットハ大軍艦ニ給與スル如キ大形ノブリキ 罐ヲ用サズ特ニ  
 小形ノブリキ 罐ニ諸ノ置キアルナドハ實ニ用意ノ至レルニ敵軍カガシ得ズ  
 砲術練習所及水雷術練習所ハ丸程見ルヘキモノナキカ如シ唯々砲  
 術練習所ヲ一小島上ニ設ケ之レヲ海軍ノ一軍艦ト見做シ但懺  
 シタル如キハ利アリ也

当港碇泊中我新造軍艦敷島ハロビドニヨリ入港シ船渠ニ入ル

自「ポーツマス」至「アレスト」

荒天ニ舟英王「ファルマス」港寄港 航程一六五哩 航行里程二五〇哩

九月十五日午前十時四十五分「ポーツマス」出帆 港外ニテ俾港水先人ヲ  
 卸ロシ「アイルオフホワイ」ノ東側ヲ航シ之レヨリ佛王「オスシヤ」島ニ  
 向ツテ直行シタリシガ十六日午前二時ニ到リ天候大ニ陰悪トナリ到底佛  
 王西岸ヲ廻轉セラ「アレスト」ニ至ルノ危険ナルヲ察シ漸々針路ヲ西方ヨ

天候

リ西北方ニ変シ速ニ北方ニ變針シテ吳玉「フルマオス」ニ避難スルニ決ス全日午後二時ニ十五分「フルマオス」港口ニ到リ水先人ヲ棄船セシメ全日午後二時五十分全港ニ投錨ス錨地棧橋ノ北方ニ鍵

州「ソマオス」碇泊中天氣晴良ニシテ晴雨計三〇・〇八ヨリ三〇・〇一、所ニテリ九月十五日全港出奔ノ當時モ晴雨計三〇・〇一ニテ快晴ナリシニモ拍ハラス全日午後二時頃ヨリ晴雨計降下シ始メ雨雲次方ニ増加シ風ハ西方ニシテ又具カク増加ス而シテ十六日午前一時頃ヨリ天候愈後悪トナリ午前四時頃ニ至リ船ノ左右ニ動揺スルニ各三十度晴雨計ハ二九・七トナリ風ハ依然其方向ヲ變ヒス然レモ具カラ益ス強クシテ速ニセトナル而シテ船体動揺三十七度ニ至ル

此嵐天ハ本船ノ全回航中才一遭遭遇シタルモノニシテ棄船不熟達ノ處ノ大ニ船ノ操縦ニ困難ヲ感<sup>感</sup>シタリト船モ然レモ棄船一因ヲシテ如何ニ船体ノ海上ニ於テ安全ナルカノ度合ヲ知悉セシメタリ

晴陰比 天候 濕球 乾球 晴雨計 力 風向 時刻 記事

記事	時刻	風向	力	晴雨計	乾球	濕球	天候	晴陰比
「フアルマオス」記事「水路誌」已「詳」カ「記載」シ「ル」ヲ「以」テ「之」レ「ヲ」省「ク」本「誌」	九月十五日	N	1	30.02	6.6	6.8	B.C.	2.2
		NW	1	30.08	6.2	6.8	"	2.2
		N	2	29.98	6.8	6.0	"	2.2
		WN	3	29.94	6.6	6.9	"	2.9
		"	3	29.89	6.4	6.1	"	8
		W	4	29.80	6.1	6.2	"	8
		"	4	29.73	6.3	6.2	B.C.	1.0
		NW	5-6	29.79	6.3	6.9	B.C.	1.0
		"	7	29.48	6.3	6.9	B.C.	8
		NNW	8-1	29.78	6.4	6.8	"	7
		NW	2	29.46	6.4	6.7	B.C.	7
		"	1	29.88	6.4	6.0	"	8
		NW	1	29.88	6.3	6.1	"	8
		"	3	29.88	6.6	6.2	"	6
		NW	5	29.88	6.7	6.2	"	6
		NW	4	29.88	7.1	6.2	"	5
		NW	4	29.84	6.1	6.3	"	5
		"	4	29.41	6.4	6.8	"	8
		"	5	29.91	6.4	6.8	"	9
		"	5-6	29.88	6.4	6.8	"	7
	"	6	29.90	6.4	6.6	"	7	
	"	6	29.89	6.4	6.8	"	6	
	"	3	29.90	6.4	6.1	"	8	
	"	4	29.90	6.4	6.8	"	6	
	"	4	29.89	6.3	6.9	"	5	
	"	4	29.89	6.2	6.9	"	8	
	"	4	29.89	6.2	6.9	"	6	
	"	4	29.86	6.4	6.0	"	5	
	"	4	29.71	6.4	6.1	"	6	
	"	4	29.91	6.4	6.2	"	6	
	"	2	29.71	6.0	6.9	"	8	
	"	2	29.89	6.9	6.4	"	6	
	"	2	29.88	6.6	6.7	"	8	
	"	2	29.88	6.9	6.7	B.C.	7	
	"	3	29.90	6.1	6.8	"	4	
	"	3	29.91	6.1	6.7	B.C.	4	
	W	1	29.88	6.0	6.6	"	1.0	
	SW	1	29.87	6.0	6.6	"	1.0	
	"	1	29.87	6.0	6.7	B.C.	1.0	
	"	1	29.80	6.3	6.8	B.C.	1.0	
	SW	3	29.70	6.2	6.1	B.C.	1.0	
	W	5	29.60	6.4	6.1	B.C.	1.0	
	"	6	29.69	6.9	6.4	B.C.	1.0	
	NW	3	29.84	6.4	6.3	"	1.0	
	NW	2	29.96	6.4	6.6	"	1.0	
	"	5	29.98	6.4	6.2	"	1.0	
	"	5	30.01	6.9	6.4	"	1.0	
	"	5	30.04	6.1	6.4	"	1.0	

「フアルマオス」碓氷中に晴雨計降下レシル格上昇セズ且ソ風向常ニ北ヨリ西ノ間ニアリ尤ニ天候表ヲ掲ケテ以テ如何ニ英海峡ノ荒天ノ運統スレ

碇泊中伊玉舟艇ニ隻入港ニ至玉水雷艇逐艘四隻出入ノ獨玉領事、  
詮詰ニ依レバ本港ハ美玉水雷艇ノ常駐地タルモノ、如ク其地勢水雷  
艇ニ最モ適当ノ碇泊所ナリ而シテ港口一小砲台アルヲ見ル

自「アルマウス」至「カレスト」 航程一三八哩 航行里程一四八哩

九月二十五日午前十時三十分風収まり晴雨計上昇シタルヲ以テ投錨出  
航港外ニ出テ首々ニ針路ヲ佛玉「オスシヤント」島ニ採ル今月午後二時  
過「オスシヤント」島ヲ過キ漸次東方偏針シテ今日午後四時五十分  
伊玉「カレスト」軍港ニ投錨ス而シテ二十五日島内ニ碇泊場ヲ変更ス  
航海中ノ頗ル平穩ナリ然レモ本港ハ所謂「ビスケー」湾頭ニ在スルヲ  
以テ尤モ碇泊中ノ天候表ヲ記シ「ビスケー」湾ノ天候一概ヲ知ラシ

伊玉「カレスト」碇泊中ノ天候表 (晴西計降下二九・〇六ニ至)



晴陰比	天候	濕球	乾球	晴雨計	力	風向	時刻	訪問	戰艦
8	B.C.	61	63	29.98	3	W	4	鎮守府司令長官	阿ミラルポーシニ外二隻河口内ニ新造中、佛玉一等戰鬥艦三隻 其外佛玉軍艦十隻
10	C	62	63	29.92	3	"	8		
5	B.C.	62	64	29.92	1	"	12		
10	B.C.	63	68	29.88	2	"	4		
10	n	64	68	29.88	2	"	8		
10	n	63	66	29.81	2	"	12		
10	C	59	68	29.98	2	"	4		
10	B.C.	59	61	29.95	2	"	8		
6	"	62	71	29.94	3	"	12		
9	"	59	66	29.96	3	NW	4		
4	"	58	62	29.97	3	"	8		
5	"	59	61	29.98	3	"	12		
10	O.C.	59	68	29.90	4	"	4		
10	O.C.R.	57	59	29.69	6	W	8		
10	n	56	57	29.59	4	WNW	12		
7	B.C.	56	50	29.58	8	"	4		
7	"	56	52	29.57	2	"	8		
4	"	58	56	29.60	1	W	12		
5	"	53	56	29.64	1	"	4		
4	"	53	56	29.74	2	WNW	8		
4	"	55	69	29.83	1	NW	12		
8	"	55	59	29.88	2	"	4		
7	O.C.P.	54	58	29.87	2	"	8		
6	"	54	53	29.84	1	"	12		
10	O.C.	56	58	29.89	2	"	4		
10	O.C.R.	55	58	29.66	1	"	8		
10	"	56	58	29.53	2	"	12		
10	"	57	63	29.45	1	"	4		
10	"	53	57	29.48	2	WNW	8		
10	"	54	54	29.46	2	NW	12		
10	"	58	51	29.42	1	"	4		
8	B.C.	57	53	29.34	2	"	8		
5	"	54	57	29.37	1	"	12		
5	"	54	54	29.37	1	"	4		
7	"	59	59	29.34	1	W	8		
7	"	59	59	29.35	2	SW	12		
10	O.C.R.	57	58	29.10	4	SE	4		
10	"	60	63	29.06	5	SW	8		
10	O.C.	61	62	29.10	3	NW	12		
7	B.C.	59	59	29.75	6	SW	4		
6	"	58	60	29.50	4	"	8		
6	"	54	58	29.38	4	W	12		
10	O.	54	58	29.50	4	NW	4		
10	"	62	67	29.69	2	NW	8		
10	"	58	69	29.92	2	NNW	12		
4	B.C.	58	66	29.96	2	N	4		
5	"	59	60	30.10	1	NW	8		
1	"	52	54	30.14	1	NNW	12		
2	"	51	54	30.14	1	N	4		
2	"	54	57	30.19	2	NE	8		
2	"	57	63	30.20	1	SW	12		
2	"	55	62	30.15	1	SW	4		
3	"	58	62	30.12	1	W	8		
3	"	58	62	30.08	1	SW	12		

記事

「アレスト」全隻ノ防備ハ凡テ少シク旧式ニ屬スルモノ、如ク真海軍ニ屬スル  
諸官衛及ヒ造船所等ハ以テ市街ノ中ニ曲入セル一河内兩岸ニ設立  
セラレアルヲ以テ港内ヨリ之シテ望ムハ何処ニ大船集アルヤ又大船基ヤル  
ヤ又繫留庫艇アルヤ一ツトシテ目ニ觸ルモノナシ故ニ昔日帆走軍艇時  
代ニハ或ハ有カナル庫港ナリシナランモ今日ニ於テハ河内非常ニ狭極ニ  
シテ混雜ヲ極メ到底迅速ナル出師準備等成シ得ヘクニ非ズ

自「アレスト」至「パロルター」

「荒天ニ付」リスボンニ寄港 航程六六ニ淫 航行里程七七八淫

十月三日晴兩計上昇シ「ビスター」湾天候是マリシヲ察シ今日午前  
七時十分出帆「マルマ」燈台ヲ過キ直々ニ「フビニスター」岬ノ方向ニ針  
路ヲ採ル四日午後四時五十分西玉「トリナナ」燈台ヲ過キ之レヨリ「カル  
ボエル」岬燈台一淫沖ヲ過キ六日午前一時二十六分葡玉「サイニス」岬

天候

燈台ヲ乗テ七哩ニ認メ遂ニ北緯三十七度四十六分西至九度十四分ノ所ニ  
 至ル然レモ晴雨計漸次降下シ来リ天候暗黒風向東南ヨリ遂ニ南  
 ニ変シ又西ニ偏スルニ至リ且ツ西方ヨリ長濤起リ船体動揺甚シク若  
 シ益々前進シテセントピンセツト岬附近ニ至ツテハ船体動揺一層危  
 険ナルヲ豫想シ附近ノ港灣ニ寄港セシトスルモリスボシ外亦他ニ  
 長濤ヲ防ガヘキ良港アラス故ニ今日午前二時五十三分逆轉シテ六  
 余哩後方ニアルリスボシニ背進スルノ止ムヲ得ザルニ至レリ今日午  
 前十時ナセ分リスボシ港ニ入り葡王政府ヨリ指定ノ浮標ニ繫留  
 ス  
 アレスト碇泊中ビスケー湾内諸所ノ天候ヲ聞合セ居タリシニ十月  
 三日ニ至リ始メテ晴雨計ノ上昇ヲ認メ天氣快復シタルヲ見認メ直  
 今ニビスケー湾ニ出航シタルヲ以テ頗ル平穩ニ通過スルヲ得タリ然レ  
 此六日午前ニ到リ驟雨西方ヨリ長濤モ亦トテ方ヨリ来リ晴雨計

訪問

二九、セミトナリ船モ水路誌記載ノ大西洋荒天ヲ現出セントスルノ兆アリ  
屏港司令官

磯船

葡玉軍艦「アママスタル」(バスコデガマ)

記事

水路誌ニ詳カナル以テ之レヲ省ク

自「リスボ」至「ブラタ」航程三〇七哩 航行里程三〇八哩

十月九日晴雨計上昇シ天候是マリシヲ以テ午前八時四十七分「リスボ」

出帆針路ヲ南ニ拂リ「セントピニセツ」ヨリ四十分三哩ニ通過シ十日午後

零時四十分「ゲブルタ」ニ投錨スル航海ハ全回航中ノ中ニテ最モ

多ク浪船ニ出会ヒタル航海ニシテ一日、中何時リ間ハス我が四方ニ六

七隻ノ浪船航海セザル「アキハ大」人目ヲ驚カセリ

天候

此航海ハ頗ル平穩唯「ブラタ」海峡ノ西口ニ近クキ強東風ニ出会  
ス然レモ東口ニ近クニ從「ワテ」風亦タ止ム是レ乃チ水路誌ニ記シアル

訪問

所謂「シヴァニタ」ナル強風ニシテ唯々具風力潮流ト合シ波濤莫カウ甚ク猛烈前地台遂ニ爲ソニ破損スルニ至ハ本船檢疫ノ爲交通遮断ニ付キ之レヲナサズ

軍艦  
自  
檢  
疫

英「アヒゾ」外一隻

當時葡王「オポルト」府ニ「バスト」病流行ス故ニ全國ノ一港ニ寄港シテ船舶ハ本港ニ於テハ若干日ノ檢疫ヲ全ルニアラズニバ陸上ト交通スルヲ能ハス故ニ本船ハ内港ニ入港スルヲ能ハスレテ防波堤外石炭貯藏船碇泊場ノ東側ニ投錨スルノ不得已ニ至レリ

自「ロロタ」至「バルセロナ」航程五ニ二日 航行里程五ニ五日

十月十三日午前七時出帆「ケイブカ」沖三哩「ケヒバラス」ノ沖五哩「ケイブカ」沖一哩ヲ通過シ十五日午前十時ニ十分西國「バルセロナ」

港ニ投錨ス

天候

十昨日午前三時頃、ケイプトルトサレノ三十哩余沖合ニ於テ極烈ナル  
電雷大強張而此方ヨリ到ルニ合ス其他海上先フ平穏ナリ

検査

本艘ノ寄港防波堤内ニ入テ検査済奉リ本艘ノ葡萄方固「リスボ」  
ヲ登ラ入港シタルソ開キ拔錨スルヲコバンテ曰ク今ヨリ一日洋許アルノ島  
ナル検査所ニ至リ二週間ノ検査ヲ終ルニアラガレハ亦タ乗ツラニ碇泊ス  
可カラスト本艘ハ又ノ如キ長時日ノ検査ヲ受ルノ必要ヲキリ以テ唯  
タ淡水及糧食ヲ積載シ直ニ「ソ」ニ向ツテ出帆スルヲ以テ是ナリ

自「ソ」至「ソ」

航程一九八哩

航行里程二〇〇哩

十月十五日「ソ」ニ止マルヤ僅カニ三時廿分間ニシテ糧食及淡水  
ヲ搭載シ午後一時四十分出帆西班牙沿岸ニ沿ヒテ乗レ「モリノボイト」  
及「セ」トセハ「ス」ニ兩燈台ノ三哩乃至四哩ノ沖合ニ至リ之レヨリ佛「ソ」  
ニ直行シ十六日午後三時三十分「ソ」ニ防波堤内ニ於テ停港水先人  
ノ捕逐ニ依リ水雷隊改裝部ニ最モ近キ浮標ニ撃ち込ム

天候  
大雷雨

十五日暴風警報「バルセロナ」城趾ノ上ニ揚揚セラシタルニモ拘ラズ亦  
艇シタルトトラ天候漸次陰悪ノ兆ヲ呈シ晴雨計降下シテ二九七〇  
トナリ風ハ東ニシテ弱キモ山ノルキ其雲諸トモ現出シ唯々雷鳴遠カ  
ニ聞エルノミテ予ノ左日午後六時四十分頃西至「セントセバスチア」燈台ノ畔  
公ニ到ルヤ忽然南方ヨリ非常ニ猛烈ナル驟雨来リ满天昏暝  
而シテ電光雷鳴一時ニ我が頭上ニ犯シ来リ本艇ノ周辺ニ於テ大雷雨シ  
タルモノ其幾十回ナルリ知ラズ其一回モ本艇ニ命中セリハ是ニ天祐ト云フ  
可シ如斯キモノ凡ソ三十分許電雷ノヤリ乗舟通過シタルヤ風向急轉  
シテ南トナリ次テ南西トナリ又急轉シテ南トナリ次テ南西トナリ又急轉  
シテ北東トナリ今日午後十時三十分頃漸々月星ヲ黒雲ノ間ニ認め  
ルニ至リ然レニ晴雨計ノ降下尚ホ止マズ翌ナニヨリ午前四時ニ至リ二九  
六四トナル而シテ風向漸々東濟シテ東北東トナル今五時ニ至リ風向東南  
東ニ變シ其力増加ス今十時乃ク「ソール」ノ畔今ニ至リ其力ラセトナ

訪問

船停ノ動搖滾轉實ニ名状スベカラス  
鎮守府司令長官<sup>薩</sup>軍港司令官

英艦  
記事

佛王<sup>ノ</sup>外致<sup>ト</sup>隻西國軍艦<sup>ハ</sup>ヨリ

本艦ノ入港シタルヤ當時歐洲巡回<sup>ノ</sup>永少將佐雙館監及<sup>シ</sup>公

使館<sup>ノ</sup>武官<sup>ト</sup>東大佐<sup>ト</sup>兼<sup>テ</sup>行<sup>ハ</sup>ラシ<sup>テ</sup>亦<sup>シ</sup>艦<sup>ノ</sup>首<sup>ヲ</sup>軍港<sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>大<sup>ニ</sup>好

過<sup>セ</sup>ラ<sup>シ</sup>タルハ誠ニ<sup>ハ</sup>東大佐<sup>ノ</sup>尺<sup>カ</sup>カ<sup>ラ</sup>シタルニ<sup>ハ</sup>依<sup>ル</sup>モ<sup>シ</sup>ラ<sup>ハ</sup>大<sup>ニ</sup>謝<sup>セ</sup>

ナ<sup>リ</sup>得<sup>ス</sup>且<sup>ツ</sup>大佐<sup>ノ</sup>本<sup>ノ</sup>艦<sup>ヲ</sup>兼<sup>テ</sup>航海<sup>中</sup>ノ<sup>所</sup>守<sup>リ</sup>慰<sup>ム</sup>ル<sup>ニ</sup>為<sup>ル</sup>ノ<sup>實</sup>員

一<sup>日</sup>ヲ<sup>佛</sup>王<sup>ノ</sup>劇場<sup>ニ</sup>案内<sup>シ</sup>タル<sup>ハ</sup>如<sup>キ</sup>キ<sup>ハ</sup>兼<sup>テ</sup>一<sup>日</sup>ノ<sup>記</sup>憶<sup>シ</sup>テ<sup>モ</sup>忘<sup>レ</sup>シ<sup>カ</sup>ル<sup>所</sup>

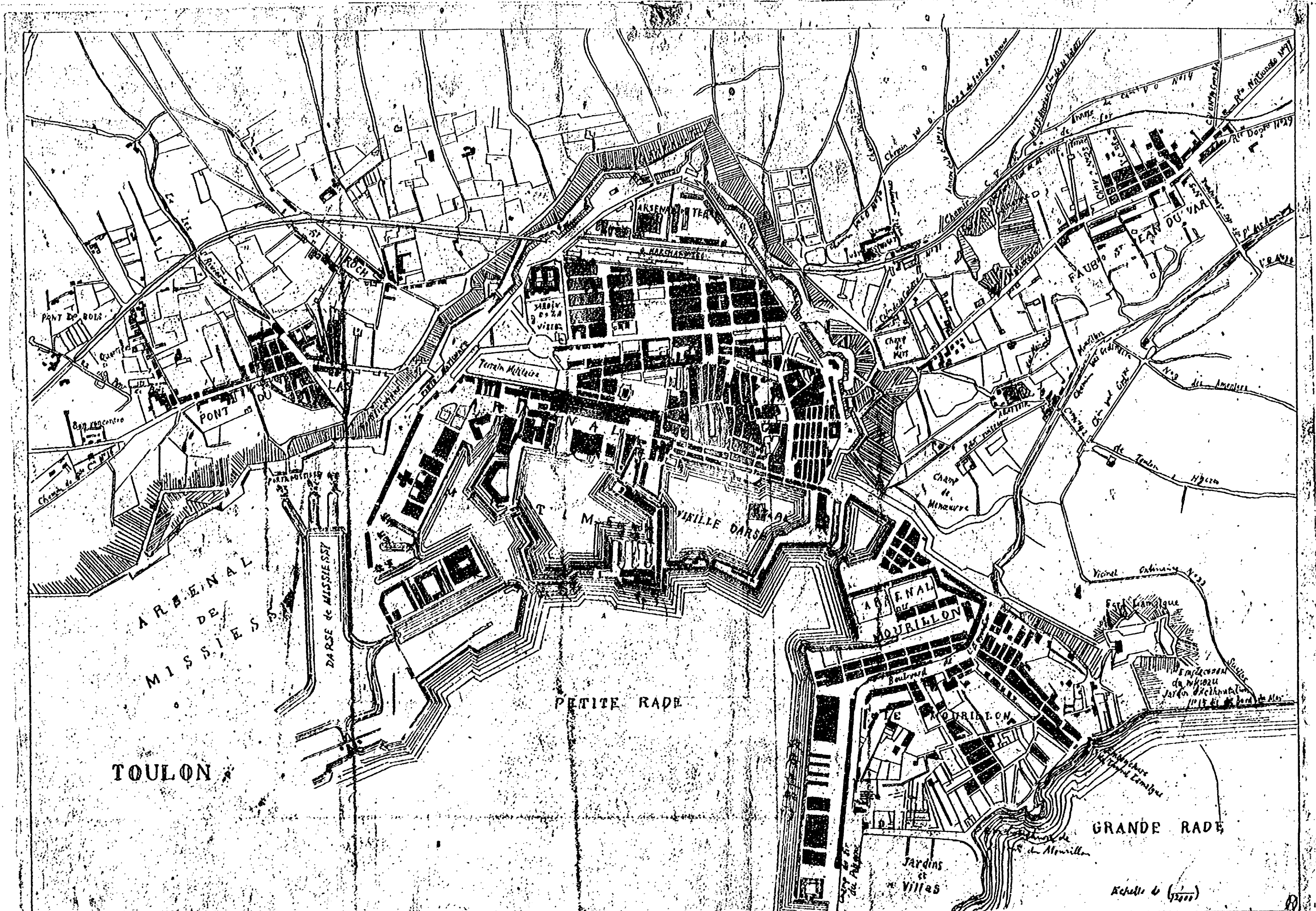
ヨナリ

青<sup>島</sup>港<sup>ハ</sup>高山<sup>峻</sup>岳<sup>海</sup>濱<sup>ニ</sup>圍<sup>ヒ</sup>軍<sup>港</sup>防<sup>禦</sup>ノ<sup>實</sup>ニ<sup>於</sup>テ<sup>ハ</sup>好<sup>地</sup>位<sup>ニ</sup>テ<sup>ス</sup>

ノ<sup>ハ</sup>如<sup>シ</sup>而<sup>シ</sup>其<sup>背</sup>西<sup>防</sup>禦<sup>ノ</sup>如<sup>キ</sup>ニ<sup>至</sup>ラ<sup>ハ</sup>實<sup>ニ</sup>危<sup>ニ</sup>可<sup>ク</sup>ラ<sup>ケ</sup>ル<sup>地</sup>形<sup>ヲ</sup>有<sup>ス</sup>港

内<sup>大</sup>船<sup>渠</sup>ト<sup>ラ</sup>イ<sup>ド</sup>ワ<sup>ク</sup>六<sup>門</sup>水<sup>雷</sup>艦<sup>ニ</sup>用<sup>フル</sup>船<sup>渠</sup>所<sup>基</sup>礎<sup>ヲ</sup>所<sup>テ</sup>其





TOULON

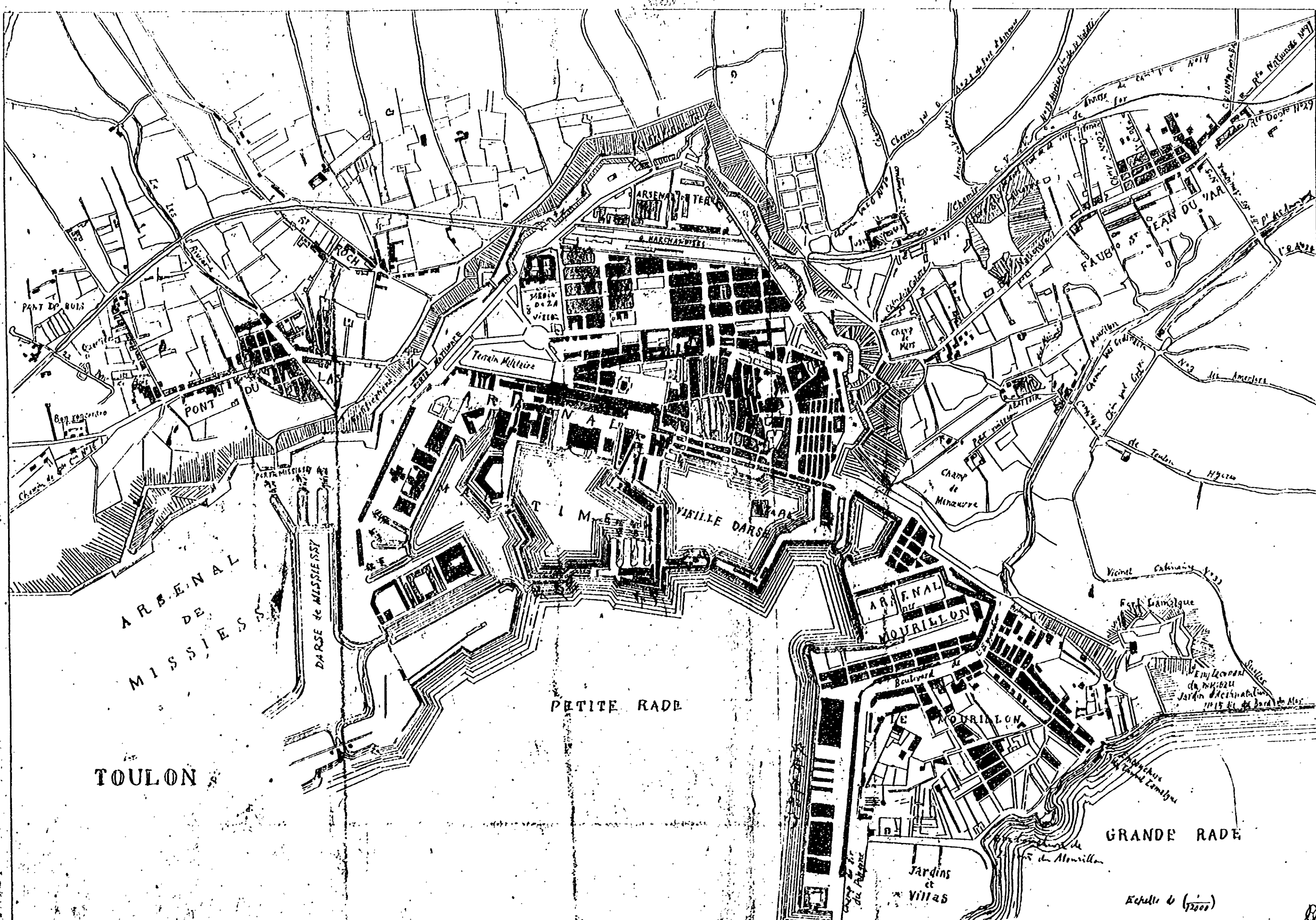
ARSENAL  
DE  
MISSILES

PETITE RADE

GRANDE RADE

1053

1052



TOULON

1053

1052

討問	<p>             他艦船撃留地敷々所ヲ其役務ニ依リ艦船ノ撃留場ヲ區別ス              其他右是庫兵器庫雷兵庫等大ニ製曠ス對山片政府造船所ニ於              テ大巡洋艦「ジャンカー」ヲ建造中其他潛行水雷艦ニ隻巡洋艦ニ隻              建造中ナリ水雷艦ハ常備艦五十隻ニシテ厚港内攻撃部附近ニ於              テ諸艦ニ警備シ其運動甚盛ニシテ常ニ大ニ研究シ居ルモノカ              シテ、竹筒ハ「コロ」ニ厚港ノ地番ニシテ海軍諸官衛ヲ明テシタルナリ              自「コロ」ニ至「子」ガルハ航程四三〇哩 航行里程四三三哩              十月廿一日午後四時四十五分山艇「ホルケトル」燈台ノ沖ニ漂ヲ過キ              コルシカ島並端ヘ向テ直行シ之レヨリ伊玉「シルセカ」岬ニ向ヒ「コロ」ガ              海峡ヲ通過シ二十三日午前十時十五分「子」ガルニ入港伊玉工官ノ指導ヲ              ニ依リ米艇「エッセソ」ト伊艇「カニハルト」トノ間ニ撃留ス              非常・快晴ニシテ別ニ記事ナシ              厚港司令官日本名譽領事           </p>
----	--

碓氷

伊玉舟艇「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」

記

失着田政駆逐艇ノ報告「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
厚館内武官鍋本大佐直ヲニ奉訪セシ見テ諸事大ニ便利ヲ得

タルハ全大佐ニ大ニ謝セザルヲ得ズ

自「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
十月廿五日午後六時出帆「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
航行里程三二二哩

カノニ直行シ次ラ「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
内第ニ浮標ニ繫留ス

ノ「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
幅最モ狭キ所「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
巨舶ト魚氏時々其舳首ヲ壓迫シテ遠ニ舳倚シテラ一回転スルノ不得已

「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」

記

「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」

「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」

「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」

「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」  
「シリ」カレルト「マルコポー」不艇「エッセワス」

天候

碓氷  
船泊

モ美麗ナル市府ニミテ後「エトナ」大火山ノ威觀アリ前ニ「マシナ」海  
 峽ヲ隔テ伊玉ノ山岳村落ヲ望シ地中海中風景絶佳ノ一ナリトス  
 比市志田等水路誌ニ詳カナルヲ以テ之レヲ省ク  
 寄港ハ上陸セザルヲ以テ其人情等知ルヲ得ナルモ碓氷泊中本艇附近  
 ニ集合シ奉レルモノヲ以テ察スルニ人氣大ニ悪シキモノ也  
 寄港内東側ニ於テ伊玉水雷艇八隻繫留ニアルヲ見ル  
 才形三十九突ノ如シ  
 本艇ハ廿六日午前ニ海峽ヲ通過シ翌日乃々廿七日午前「モルタ」ニ到  
 着スベキ豫定ナリレヲ以テ僅カニ五時間滞留、後二十六日午後四  
 時三十分「モルタ」出帆「シ、リ」東山行ニ沿ヒテ南下シ「ハカ」燈台  
 ノ三徑沖ヨリ「モルタ」港ニ直行スニ廿七日午前七時五十分「モルタ」  
 港口ニ入ル軍港水先人乗艇直々ニ船中ニ入班ス  
 「子」船中「モルタ」ニ至リ間天候快晴

訪問

島守、兵庫港司令官、陸軍司令官

磯船

英艦「リナウ」<sup>リ</sup>「グエ」<sup>ジ</sup>等地中海艦隊に救其他巡洋艦砲艦  
駆逐艇等數十隻

記事

才港ニハ船渠四何アリ乃々「ドックヤード」<sup>ク</sup>「クワイキ」<sup>ニ</sup>「ク」<sup>ク</sup>「ク」<sup>ク</sup>  
「クワイキ」<sup>ニ</sup>ニヶ所アリ前者ハ小艇船ヲ入し後者ハ大艇船ヲ入ルニ  
供ス而ツ「ドックヤード」<sup>ク</sup>「クワイキ」<sup>ニ</sup>アルモノハ細長キ船渠ノ中間ニ区  
壁ヲ設ケ内外ニケ、船渠ニ区別シタルモノニシテ、當時其内船渠亦  
ニハ「ジブ」<sup>ル</sup>「ター」<sup>ル</sup>、警言備水雷駆逐艇「アル子スト」<sup>ト</sup>入渠也、居たり而  
ソ本般ノ才港ニ入港スルヤ當テ我公使館ヨリテ渠ノ與ル會アリタルニモ  
セヨ未ダ一編ヲモ投ビスレテ直々ニ其外船渠ニ入渠セシメタルニ至ッ  
テハ、突ニ其番書ヲ散乱スルニ驚カザルヲ得ズ、而シテ日手前ハ、出港ス  
ル美前ニ繫留スル地駐在ノ魯玉領事、談話ニ依シハ、四何船渠亦



ノト橋カ一ツ、船渠ハ今建設中ナリト當時地中海艦隊入港シ居  
タルヲ以テ港内弦レド餘地ヲ餘カ頗ル此觀ヲ極ム

本艇碇泊中鎮守府司令官其官舎ニ本艇士官一同ヲ招待シ  
艦隊司令長官夫人亦々本艇士官一月ヲ舞踏會ニ招待シテ而  
シテ入渠中本艇士官至テハ其掛負皆非常ニ親切ニシテ大ニ便  
宜ヲ與ヘタリ

モルタ  
水交社

モルタ水交社ハ「モルタ」市街ノ最モ盛ナル道路ニヤリテ商家ト相並  
ビテ建設セラレ其規模頗ル宏大ニシテ其内部ハ之レヲ大ナル教室ニ  
分ケ食堂吸烟室講讀室物品販賣室至矣場等アリ其各  
室皆充分ニ裝飾配置セラレ到成我モ水交社ノ未ダ企テ及ブ所  
ニアラズ當時地中海艦隊入港ノ時ナリシヲ以テ毎夕百名内外ノ士官  
其内ニ或ハ談笑シ或ハ飲食シ又至矣ヲ遊ビ又新聞ヲ講讀スルヲ  
見ル本艇士官亦々嘗テ英王水雷駆逐艇ノ教艇長ノ招待ヲ受ケ

此水交社食糧ニ於テ公食シタルニ食卓等充分ニ配備セラレテ此ド  
 大ナル料理店ニ思ヒコトナセリ「モルタ」島ハ實ニ我が澎湖島ニ市街  
 ヲ植付ケタルト少シモ異ナルナリ吳王海軍士官ノ地中海艦隊及有  
 地守備ニ配置セラレタルモノニ對シテハ他ニツノ娯樂トスベキモノ更ニ之  
 レ莫ク唯々此水交社ヲツテ始メテサシク彼等ノ心ヲ樂ムルヲアハカ

自「モルタ」至「ポートサイド」航程九五五哩 航行里程九六四哩

十月二日午後三時五十三分出帆「クリイト」島「ガブド」島燈台ニ直  
 行四日午前七時三十分「ガブド」島燈台ヲ出ルニ至リ見テ「ポートサイ  
 ド」沖ニ直行ハ歴小港沖合ニ至リ長崎我々腹ヲ抱シ船体動搖  
 甚カシキヲ以テ針路ヲ左轉シ「ロックス」島燈台ニ向テ五日午後四時  
 三十二分右燈台ノ地方三哩ノ所ニ至リ之レヨリ陸岸ニ沿テ東行  
 シ六日午前六時「ポートサイド」港ニ至リ水先人乘艇港内ニ入り



天候

運河会社、對岸ニ繋留ス

モルタヨリ、ボートサイドニ至ルノ間、暴天ニアラザリシニ長崎津岸ニ

我が大腹ヲ襲ヒ奉リテ、勤操甚カシク、十月三日ノ迄、拜式ヲ遂ニ罷

列シテ式ヲ行フ能ハズ

軍艦

英艦「シコフ」俾艦「カニサード」伊艦「ホルケムル」

自「ボートサイド」至「イスソリヤ」航程四六哩 航行里程四六哩

十月八日午前八時三十分水先人乗艦直々ニ運河ニ入ル、今日午後一時三十分「イスソリヤ」棧橋前ニ碇、水先人退艦ス

自「イスソリヤ」至「スエズ」航程四七哩 航行里程四七哩

十月九日午前六時四十分水先人乗艦直々ニ出艦ス、今七時五十分五十二運標柱ノ所ニ至リ、碇、故障アリ、船首前方ニ偏シ、多ク休

船機故障  
原因取調

船機  
船泊

動かズ船首直クニ東岸ニ壁セントスルヲ以テ主機ヲ後退セシメテ  
漸ク水道ノ中央ニ向ケタルモ以時艀体已ニ東岸ニ近寄リタル際尤  
去推運機ヲ以テ時々河底ノ土砂ヲ掻キ其「ブレート」破損ニ依テ左舷機  
ト人力船機トヲ使用シ「ガレエト」トビツトルレエキニ至ル

船機故障ノ原因ハ之レヲ如何ニ探見スルモ遂ニ發見スル「能ハズハ  
時三十分試ミニ汽働船機ヲ使用シタルニ故障ナシ依ツテ又々汽  
働船機ヲ使用シ今日午後零時ニ十九分「スエズ」ニ到着「イブラヒム  
ボオト」入口ノ西方五鍵ノ所に「投錘」水先人吹テ退船ス

莫「ハイ」オレ「本艇」「ガ」ルツクリシ

「スエズ」破泊中十月十三日船機ノ故障ヲ發見セシ迄ノ先ツ汽働船  
機ヲ停止ノ位置ニ置キ「ドレイ」レリ充分ニ汽爲ノ中ニ發生セシメ然  
ル後々静カニ汽働船機ヲ使用セントシタルニ尤ニ船輪ノ使用ニ力  
ヲ加メスルツ發見ス然レハ全ク動かガルトナシ又々本艇「ボート」サイド

出發前舵機ヲ試ミタルモ舵輪非常ニ固クシテ殆ンド動カサル如キ  
 アリシモ暫時ニシテ又平常ノ如ク運轉シ得タリ其趣 那海航海中取舵  
 五度取リタル俟ニテ動カズ之ヨリ少しモ多ク取舵ニ取ルヘ能ハサル  
 アリ依ツテ試ミ之レヨリ右舵十五度ニ轉ジタルニ容易ニ取ルヘ  
 得タルヲ以テ直チニ取舵ニ轉ジタルニ今度ハ少しモ故障ナシ  
 右ノ実見ニ依リ本艇ノ舵機ハ取舵ニ取リタル中ハ其當時ノ汽筒内ノ  
 情況ニ依リ或ハ動カザルノ不幸アルヤ保証シ難シ  
 自「スエス」至「アデン」ノ航程一三一四哩 航行里程一三七四哩  
 本艇「スエス」運河ニ於テ舵推進機ヲ失ヒタルヲ以テ豫備品送達方  
 ヲ本邦ニ請求セザルベカラズ然レモ其本邦ヨリ當港迄テ到着ス  
 ルニハ非常ノ時日ヲ費サザルヲ得ズ且ツ本艇ノ如キ生活上最モ不完  
 全ナル艇内ニ居住シテ此最モ高キ熱帶地方ニ空シク長日月滯  
 在スルハ衛生上大ニ不利トスル所且ツ一日ヲ遲延スレバ支那海ノ天

天候

候益々陰悪ノ時期トナルヲ以テ紅海印度洋及「マラッカ」海峡合セテ五  
 十余哩ノ長航程ナリト雖モ其天候ハ最モ平穩ナル時機ナルヲ確  
 信シ遂ニ豫備品ヲ新嘉坡船渠ニ於テ取換エルトシ彼ノ五千  
 余哩ノ長途ヲ單ニ石舷主機ノミニテ運轉航過スルヲ決定セリ  
 十月十四日午前八時「スエズ」出、艇全ク大船ノ航路ヲ取り十九日午後四時  
 四十分「ベリム」島ノ東側ヲ通過シ明朝「アデン」ニ入港スルノ目的ヲ以  
 テイ速航進「アデン」ニ向フニ十日、午前六時廿分「アデン」港ニ入ル水先  
 人乗艇六時三十分錨艇尾ヲ八番浮標ニ繋留ス  
 「スエズ」出艇以來十六日午後ニ至ル迄ラ天氣、頗ル快晴ニシテ北方  
 ノ至輕風連吹シ又時トシテハ彙風ナルヲ多キモ十七日午前ヨリ漸次南東  
 風吹キ始メ十八日ハ南々東風其力ヲ二乃至五トナリ十九日遂ニ南方ノ強風  
 トナリ其力ヲ六トナル然レモ「バベルマデナ」ヲ通過スルト今時ニ東風  
 ニ急轉シ其力ヲ僅カニ一トナル是レ乃々水路誌所載ノ紅

海天候ヲ其体现出シタルモノニシテ其海峡ニ透ツクニ從ワラ南方強

風ニ遭遇シタルハ其得リニ然ルベキ所ナリ

湿度ハ天候表ニ示ス如ク九程高度ニ昇ラズ紅海ノ天候トシテ一

層冷シキ方ナリシハ小艇ノ為ニ幸ヒトシテ可シ然レモ地中海ヨリ急ニ

南下シテ熱帯ニ入リ気候ノ激変シタル處ニカオ員交互ニ下痢症ニ犯

サレテアデシ磯神才最モ甚クシカリシモ今港出艇印度洋ニ發行スル

ヤ漸次衰退シテ遂ニ全ク健全トナル

知事

英艇「ホモシ」外ニ隻 本艇「ブルークリ」ナシビル」ニエーガルヤニス

ノ子艇「バルノ」 塊艇「セント」

訪問 磯神

印度洋

通過ノ處

石炭搭載表ニ示ス如ク先キニ併セ「フレスト」及「ワーロ」ニ於テ煤炭

ヲ搭載シシレリ第一兵員室ノ前部倉庫ニ滿タシオニ兵員室前部倉

ノ石炭満  
載記

庫及ヒ公室後部倉庫ノ下部士官床下西側艀悉及艀尾倉庫ノ半  
部ニ積込込ニ石炭庫ハ船庫及艀尾倉庫ニ載シ上甲板ニ於テハ「フアヒ子  
ルケエ」レシカレシノ前方ヨリ艀尾上甲板ニ至ル迄テ凡テ裹詰メ、石炭ヲ  
積載シ且ツ「フアヒ子ルケ」イニシテ「リッ」ロ「ア」トノ間ニ更ニ石炭ヲ積込  
メ、石炭ヲ外方ニ並列シ之レト「ケエ」レシテ「ト」ノ間ニ更ニ石炭ヲ積込  
メ、積込ニシテ中線炭及ヒ石炭ヲ合セラシメ計ノ炭量百方ト噸ニシテ  
艀内上甲板ニ積込込ニシタルモノヲ噸計リテ、而シテ晝夜ヲ費シテ「コ  
ロ」ボ「レ」ニ到着シタル後キ四十金噸ヲ餘ラシ得タリ

満載時ノ吃水九ノ如シ

前部 五呎八吋

後部 六呎四吋

此吃水ハ波浪高ノミテ積込込ニ吃水并儀ノ見レ能ハシク故積込込ノ

自「ア」デ「ヒ」

「コ」ロ「ボ」レ「シ」 航程二一三哩 航行里程二二二〇哩

十月廿六日午前六時二十分出艀ニテ餘程ノ長航程ニ面テ二十

天候

八日午前三時亞弗利加北東南ヲ通過シ廿九日正午北緯十度十九分東經五十五度二十九分ノ所ヨリ東方ニ航シ潮流ト風壓トニ依リ日々二十哩内外南方ニ偏セラシツテ四月四日午前十時十七分「ニコイ」燈台ノ南方六哩半ノ處ロヲ通過シ六日午前十一時五十五分「コロンボ」港ニ着水先人乗艇「コロンボ」港東側最外錨地ニ錨ス

「アデニ」ヨリ亞弗利加東端ニ至ル乃今廿六日ヨリ廿八日迄テハ天候平穩風ハ東北東ヨリ北東ノ間ヨリ吹き其カラ一ヨリ三ニ至ル廿八日ヨリ廿九日ニ至ルノ間ハ北東風連吹シ其カラ二ヨリ三ニ至リ艇体動搖止ムナシ二日午前ヨリ北東風大ニ衰ヘ遂ニ變ジテ北西風トナリ其カラ二トナリ三日午前北風トナリ無風トナリ南西風劇カニ起リ次テ南風トナリ其カラ三今日午後ニ至リ東南東トナリ次テ南東ヲ味トナリ其カラ三五日午前風漸次東方ニ轉ジ遂ニ東北東ヨリ北東トナリ其カラ四トナリテ連吹シ艇体甚ガシク動搖シ三十一度ヨリ三十五度常ニ左右ニ傾斜シマ

訪問

漸ク「セイロン」西岸ヲ目前ニ認ムルニ至シリ  
知事陸軍司令官、日本名譽領事

碇泊  
記

獨艇「シドラー」伊艇「エモニテ」米艇「ナシビル」下林艇「ヴァルキエリエ」  
本艇「アデニ」ヨリ當港ニ回航中「コニテンサア」  
生ジタルヲ以テ當港「ウオカア」会社ニ托シ之ガ修理ヲナシタリ之レ乃ケ當  
港碇泊ニ長時日ヲ要シタル所以ナリ

自「コロンボ」至「シガポール」ニ 航程一五三三哩 航行里程一六〇五哩

十九日午前八時出帆「セイロン」島西岸ニ沿ヒテ航下シ今日午後八時「  
シドラーヘット」燈台ヲ越五哩ニ望ミ之レヨリ東方ニ向ツテ航行シ  
毎日四十哩乃至五十哩ノ偏南流潮ニ会シツ、十二月廿三日午後  
七時四十五分「プロブラス」燈台ヲ南々西四哩ニ見テ「ベンガルバッセイ



天候

ジニ入り廿四日午前十時三十分「外イヤモドボイント」ヲ南々西十哩ニ見テ  
針路ヲ「アロシヤラウ」ニ是ノ廿五日午前十時二十八分「アロシヤラウ」  
ノ西方五哩ノ處ニシテ通過シ之レヨリ大船ノ航路ヲ探リ廿六日午後二  
時十分新嘉坡「ジョロソニビヤ」ノ東南二哩ノ所ニ碇留ス  
此航海ノ天候ハ実ニ好天気ニシテ風向ハ表中ニ示ス如ク時々々  
身風位ヲ變セシト云ハ其カ零ヨリ一ノ間ニアルヲ以テ船停少シモ傾  
斜スルヲナク唯々静然航行シタルハ實ニ愉快ニ堪ヘザリシ

訪問  
船泊

日本領事、知事、陸軍司令官  
英艦「ハピア」ニ来艦「黒クエッタ」 伊艦「エルバ」 獨艦「ドイツケラ  
ンド」外一隻喫艦「セニタ」

記事

豫備推進機ハ已ニ本館ヨリ当地ニ送付アリシヲ以テ右取換ヘノ爲メ廿  
七日午前十時出帆「タンジヨシバカ」ニ至リ今日午後零時三十分在リ

シヨコバカ」船渠に入渠ス日午前七時十五分抵埠ニ幸餘リタルヲ以テ  
出渠令八時「シヨコソコバ」東南八鍵ノ所ニ碇留ス

「スエズ」出船以乘一時間平均約九哩半ノ速カヲ以テ五千余哩ノ長  
途ヲ無幸ニ右舷機ノミヲ以テ航過シ終リタルハ實ニ本船ノ不幸中  
幸幸ニシテ而ソ之レガ爲ノ尤ノ咎異ヲ莫見スルヲ得タリ

一石炭消費比較的減スル

一機械ニ使用スル油類ノ消費大ニ減スル

一機械室ノ動差自由ニシテ且ツ其室内ノ温度ヲ減シ從ツテ

之レガ使用者ノ疲労ヲ減スルヲ大ナル

一九哩半ノ速カニテハ三度位ノ航ヲ取ラハ航路直行スル

我邦人新嘉坡ニ移住シテヨリ再拜正月ノ嘉節ニ於テ我年經

ノ此港ニ碇泊シタル一未だ嘗テ之レアラザルニ今因本船ノ其時

機ニ遭遇シタルハ居而日本人ノ爲ニ大ニ歡喜ヲ集ヘタルモノ

ニシテ正月五日我領事館ニ於テ日本人会ヲ開キ本艦士官大ニ招  
待ヲ請ケタリ

自「シシガポール」至「ホニコ」

蒼天ニ白キ「サイゴン」寄港 航程六九九哩 航行里程七〇六哩

一月七日午前八時十分出帆今午後零時世方「ヘドロガラニカ」燈  
台ヲ南東ニ方ノ渚ニ見テ北行シ「サイゴン」沖「コンドア」島ニ向テ  
直行ス八日午後ニ至リ北東風漸次カラ増シ潮流ト共ニ船ノ前  
部ヲ犯シ輾轉スル毎ニ非常ノ震動ヲ来ス之レト今時ニ船俦  
左右ニ傾斜スル「二十八度内外」到ル十日午前六時風向依然北東  
ニシテ其カラ五且ツ支那陸岸ニ近寄リタル處ノ潮流ノ逆転益ス甚  
シク船ノ前進益ス遅緩ニシテ到底貯積在炭ノ香港迄ヲ持續スルノ  
難キヲ察シ遂ニ針路ヲ大轉シテ「サイゴン」河口「ゲイブセトゼイ

記事

ムスニ寄港スルノ止アリ得ガハニ至シリ左日午前七時ニ至リケイアセント  
ゼイムスニ投錨ス

ケイアセントゼイムスレハ「サイゴン」河ノ支那海ニ注入スル門トモシラ  
佛人家屋ニ三ノ戸佛砲兵兵舎ニ三棟(頗ル少ナルモ)ニシラニ三  
百ノ佛兵アルカシ)其他電信局及ヒニ三軒ノ支那商家アルノニ  
砲台ハ比小嶼ノ南北ノ山トナルモノ、如ク澳内頗ル狭ク水濤ク安  
南及ヒ支那帆船五方十隻碇泊ス当澳ハ「サイゴン」河水先人ノ停  
船場ニシラ「サイゴン」ニ至ラントスル船舶ハ比ニ於テ水先キヲ乗船セ  
レハル所トス当澳ト「サイゴン」トハ毎日二回ニ百噸許ノ汽船ヲ以テ交  
通ス故ニ石炭、加キハ到衣皆無ニシラ淡水ハ島内ニ一ヶ所アリ是  
其量甚ガ多カラザルモノ、如シ糧食ハ支那人ヨリ少量ニ限リ供  
給シ得ラルベシ

自「カイゴ」セントゼイムスに至る「カイゴ」航程四九哩

本艇ハ比ノ小澳ニ於テ到ル石炭及ヒ充分ノ糧食ヲ得ル能ハズ且  
ソ北東信風ノ強吹時ニ遭遇セタルヲ以テ四五日間ハ天候到極是ニルノ  
見込ニナキヲ以テ遂ニ「カイゴ」ニ至リ碇泊スルニ決セリ

十日午前十時十分水先人(佛人)ヲ乗セ出航セ「カイゴ」河ヲ上ル河  
幅最廣キ所三四鏈最モ狭キ所一鏈航路頗ル屈曲多シト云氏  
水深凡テ四五尋ヨリ七八尋アリ且チ潮流尤強カラサルヲ以テ進行困

難ナラス比邊一帯隈ヲキ底地ニシテ所謂「根」ハ盛ニ繁殖スル所  
ナルモ河ノ兩岸堤上ニハ二三ノ吹ノ雜木繁生シ「カイゴ」ニ至ル四九哩  
ノ長堤唯テ青々タル雜木ノ繁生スルヲ見ルニ比河鱉魚ノ生産地ナ

ルヲ以テチ潮ノ降ハ時々河畔ニ積ルヲ見ルト云フ今日午後四時四十分  
「カイゴ」市前ニ至ル「ハア」ホアエスター「本艇」本艇ヲ送船所前ノ棧  
橋ニ繋ぎ留ム

訪問

佛領交趾、支那大寺、陸軍司令官

船艇  
記  
事

佛旗艇「カントロカストリ」外方七隻下揚「ウエルキユリマン」

「ライボン」港ハ番ニ示スカ如ク河岸ニ據ツテ建設セラレタルモノ

ニシテ河幅一鍵半長ク一程余ノ間諸所ニ浮標ヲ敷設シ上

流ヲ導艇救急泊所トシ下流ヲ南航繫留所トシ市街ノアル方ニハ

諸所ニ棧橋ヲ設ケ大艇艇ト虽モ自由ニ繫留シ得ベク兵器廠

アリ造船廠アリ以テ艇艇ヲ修理スルニ足ル造船廠ハ頗ル小規模ニシテ近

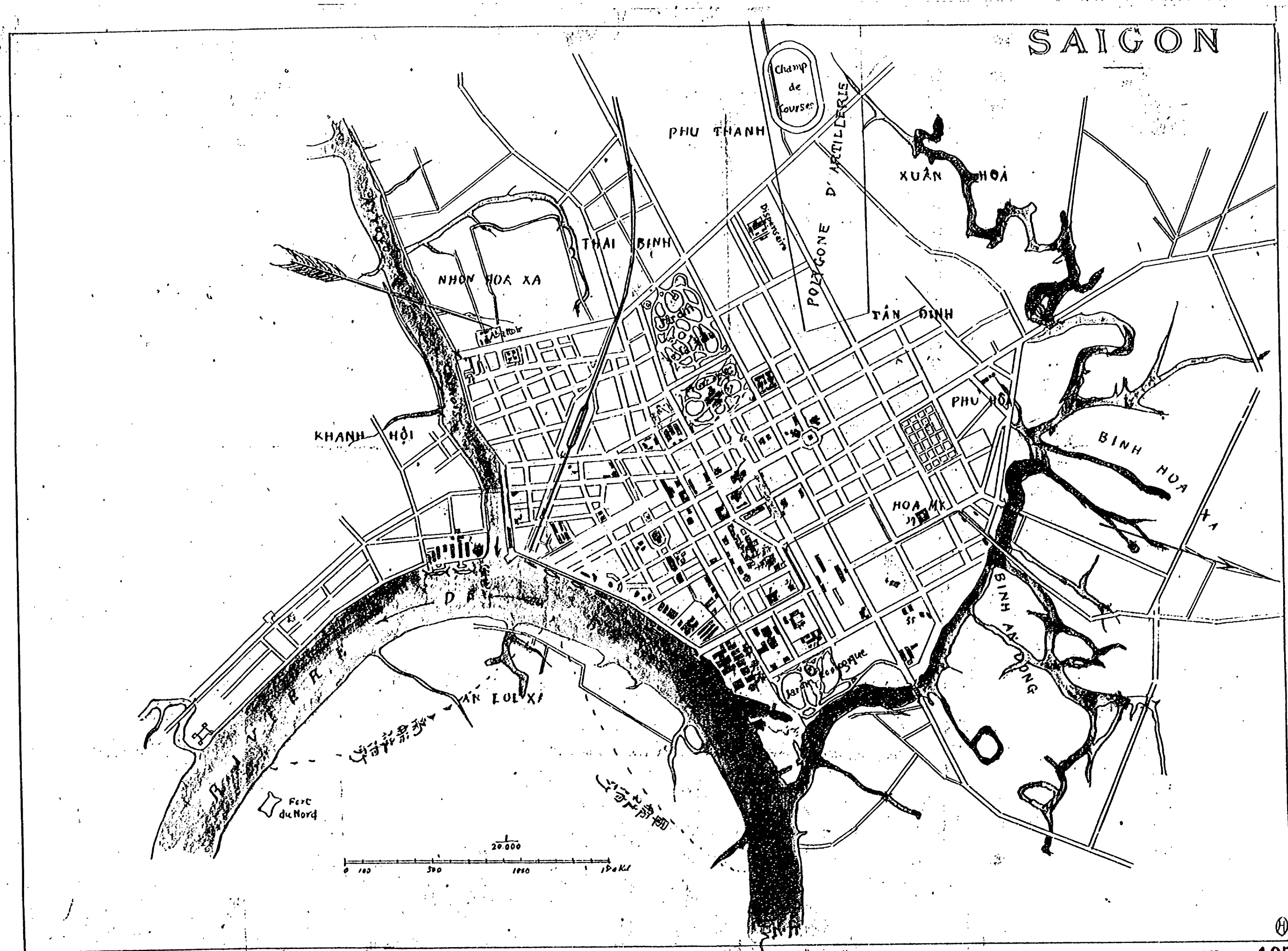
頃水雷艇一隻製造中ナリ

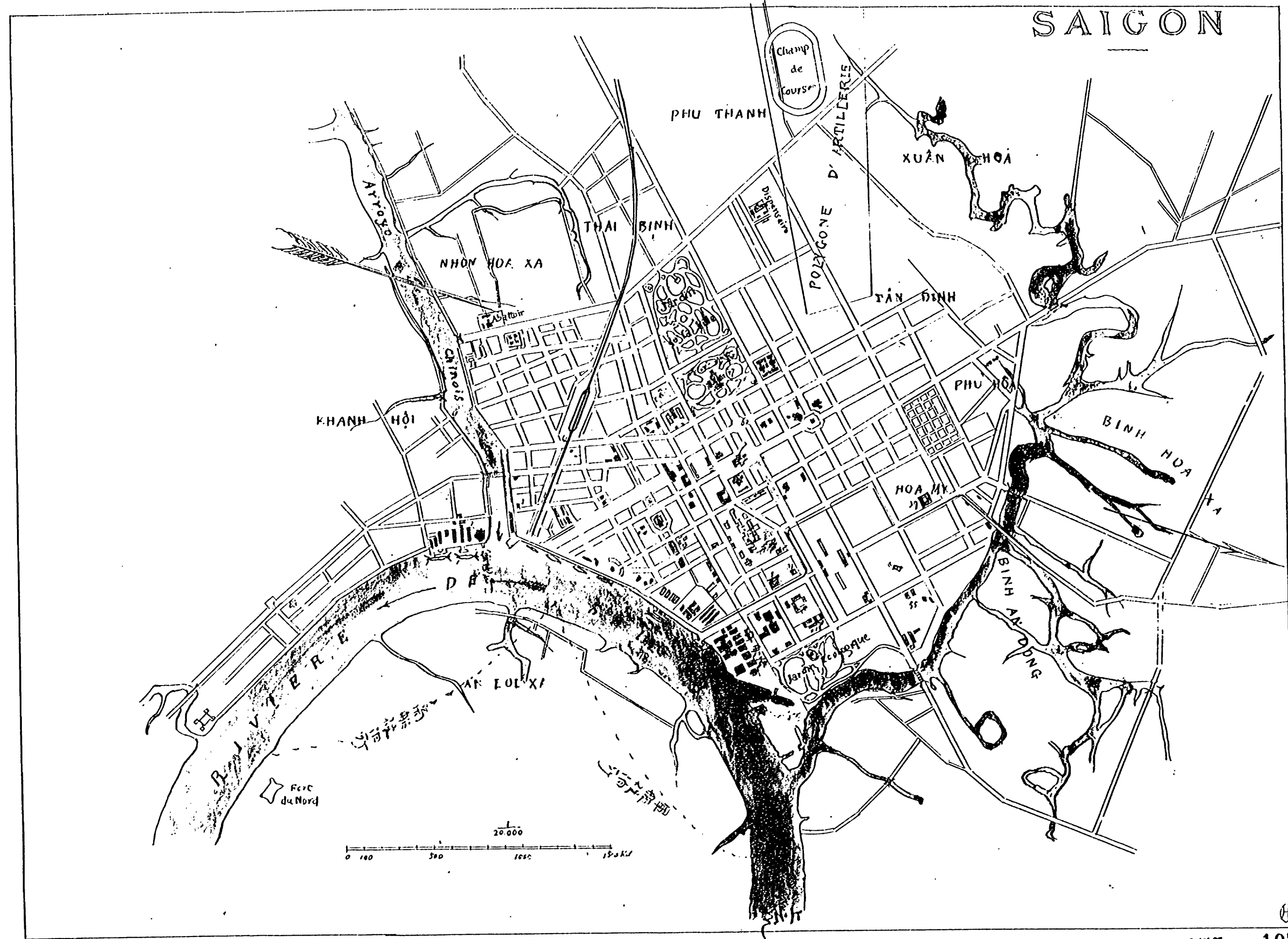
当港ハ十二呎余ノ干満差アルヲ以テ潮流中々急激故ニ此ニ碇

泊スル船舶ハ皆其船首ヲ上流ニ向ケテ繫留スルヲ以テ其出港ニ

際シテハ必ズ先ツ前進シテ上流ニ上リ浮標碇泊所ノ上流ニ至リ

番ニ示ス如キナル浮標ヲ大索ヲ其船首或ハ船尾ニ取り而シ







船首全ク下流ニ回頭シタルヲ見テ大索ヲ遣放ケ又市前ヲ通過シテ出  
港下流ニ向フヲ降トス

市街ハ廣闊且ツ清潔ニシテ道路及家屋ハ全ク歐州佛玉風ヲ用ヒ  
人ヲシテ佛玉ノ一市府ニ遊ブノ感アルレム

陸軍兵備及海兵等先ツ立派ナリ其外安南人ヲ以テ組織シタル土民  
軍アリ實ニ市内各所ノ衛兵等ニ用ルル此土民兵ハ性覺頗ル温順

ナルモ、如ク佛人ノ下士官及士官之レヲ指揮訓練ニ而シテ彼等兵士ノ  
妻ヲ有スルモノハ其妻帯ノ俸入當シ居ルモノ、如シ

本岬碇泊中下林軍艦「ウエルキエ」皇族ヲ戴ヒテ到ル市中歡迎  
ノ為メ大ニ賑フ

香港海軍部ハ本岬ノ為メ非常ニ親切ニシテ大ニ便利ヲ得タリ

自「カイゴ」ニ至香港 航程九一一日 航行日程九二五日

天候

廿日午前七時出帆「ハアボアマスター」及「サイゴン」河水先人乗艇市  
 ノ上流ニ進ミ田頭市ノ下流ニ於テ「アボルマスター」退艇次テ「サイゴン」  
 河ヲ下ル午前七時「ケイブヒドセイムス」着水先人退艇之ヨリ陸  
 岸ニ泊ヒテ航行シ「ケイブバダラニ」ニ向フ十七日午前一時五十分「ケイブバダ  
 ラニ」燈台ノ沖五哩余ノ所ニ過キ之ヨリ海南島東端ニ向ヒテ北行  
 十九日正午北緯十九度三十分東經百一十度五十九分ノ所ヨリ香港南  
 部ノ「カッポロウ」燈台ニ直行シ廿日午前七時香港西口ニ入り七時三十分  
 五分鐘離碇泊所内兵器廠前ニ碇ノ所ニ碇錨ス  
 「サイゴン」出帆以來香港ニ至ル迄晴雨計ハ二十九ハハヨリ三〇〇ニ、間ヲ  
 昇降シ「ケイブバダラニ」ヨリ北岸陸岸ニ近ク航行セシキ、如キハ潮流甚  
 ク強クシテ一時間四哩ノ逆潮ニ遭遇シタリ而シテ毎日平均ノ逆潮ハ三  
 哩ヨリ四哩ニ至リ艇俾傾斜三十度ヨリ廿六度内外ナリ然レモ風  
 ハ「ケイブバダラニ」附近ハ具カラ最モ強キモ其他ハ風力ニヨリ三ニ止

訪問  
船泊

より風向ハ陸岸、形勢ニヨリテ少シク方向ヲ轉スルモ概シテ業ヨリ  
東出東向ヨリ過吹ス天氣ハ常ニ本晴ニシテ香港附近ニ於テ  
垢ソテ濃霧ニ会ス

日本領事香港大守陸軍司令官厚港司令官

英「センチュリカン」外東洋艦隊及水雷駆逐艇等數十隻

采「バルケモア」外一隻

「不殊」ウエルキユリ工

自香港至厦門

飛天ニ付香港ニ引返ス 航程四八哩

廿四日午前八時出帆港外ニ出テ左十時十五分「ナイビンクル」  
ンクルアイランドノ中間ニ至ル頃在船機故障アリ之ヲ停止シ左舷  
機ノミヨリヲ前進シ安全ナル所ニ至リ碇泊シテ之ヲ修理セシト

欵然し此の時東風其力ヲ愈強ク怒濤潮流ト共ニ漸次其力ヲ  
増シ来リ艇体傾斜スルヲ尤右二十八度ヨリ三十度ニ至リ且テ操舵上  
非常ノ困難ヲ感ジタルヲ以テ遂ニ逆轉セラシ又香港ニ向テ今日午後二  
時三十分香港床に澳港ニ投錨シ直チ右舷機ヲ修理ス

自香港至厦門

荒天ニ付キ汕尾ニ寄港 航程八二哩 航行里程八四哩

廿五日右舷機修理終リタルニ天氣險惡且東風強吹スルヲ以テ出  
艇セズ廿六日午前八時出艇陸岸ニ泊ヒテ津行ス此の時風ハ東並  
南ニシテ其力ヲ三ナリシモ次ニ四トナリ又五トナリ輾轉動搖止ム  
ナリ傾斜三十二度ニ至リ風力益増加リ患ヒアリシヲ以テ其夜ハ航行  
ヲ止シ今日午後四時五十分汕尾ニ投錨ス

自汕尾

至厦門

航程二一〇哩

航行里程二一八哩

廿七日午前七時十分出艇陸岸ニ出テ航行シ蓮花峯南ノ南方ニ暹ノ所ヨリヲモリテ島ノ西五哩ヲ過キハヤバル燈台ノ畔合ツ回リ廿八日午前七時十分厦門外港ニコーカシ岩ノ南ニ西方三鍵ノ所ニ投錨ス

天候

廿七日午後ハ北東風ニシテカラカヤリシモ廿八日ノ午前零時頃ヨリ其力ヲ大ニ減ジテ一ヨリニトナル天気晴ニシテ此海峡ノ天候トシテハ好天気ト云フベシ

訪問

日本領事

碇泊

須磨八重山 獨玉軍艦 イレ子

記事

本艇ノ碇泊ニ中隊艇須磨ヨリ本艇乗員一員ニ入添リ艇食セララレ又八重山ヨリハ本艇糧食品ノ補充ニ尽力セラレタルハ兩艇ト向テ深ク謝スル所ナリ

自廈門至佐世保

荒天ニ付東引島寄港 航程ニ二一哩 航行里程ニ四四哩

廿日午前七時出航ドツド 燈台、沖三哩ヲ通過シ午後四時烏垣

燈台ノ南東五哩ノ所ニ至リ之レヨリ牛山島燈台ノ南東五哩沖ヲ過

過シ針路ヲ佐世保ニ向ケシモ風力次才ニ増加シ船俵動搖甚シク

到底航過ノ困難ナルヲ察シ廿一日午前零時針路ヲ轉シテ東引島ノ

東方ニ向テ航行ス左午前六時三十分東引島ヲ西方凡ソ十哩ニ及認

ム然レモ之レヨリ直テ東引島ニ轉針スレバ船俵將ニ横波ヲ受クル以テ

遂ニ全八時十五分ニ至リ逆轉シテ追波トナシ左十時十分東引島錨地

ニ投錨ス

天候

暗黒且ツ霧ヲ交ヘ烏垣島附近ヨリ其風其カラシ増シ廿一日午前風

力又増加シ遂ニ其ノ速トナル船俵ハ絶ヘズ三十度内外左右ニ傾斜シ

潮流ト波濤ト共ニ船首方向ヨリ来テ船胸ヲ打テ其震動頗ル

激甚ナリシ

自東引島至佐古保

荒天ニ自キ葦山列島ニ寄港

航程ニ五八哩 航行里程ニ六四哩

二月二日午前七時四十八分出艇五島大瀬寄ニ向ツテ針路ヲ取ル

三日午前一時北西風頗ル猛威ヲ極メ到底航道ノ困難ナルヲ

以テ針路ヲ北ニ変ス左一時三十分又針路ヲ北西ニ変シ黒山群

島ニ向フ午前六時艇体動搖非常ニ甚シク波濤上甲板ヲ侵シ乗ッ

テハトドレケラ見ルニ餘ハブルニ至ル全キ前立時黒山群島燈台南

十哩ニ見テ針路ヲ葦山列島ニ向ハシム左日午後二時葦山列島觸地ニ

極端ス

天候

東引島出帆ノ當日乃二月二日ハ先ツ好天気ナリモ三日午前一時頃

ヨリ北西ノ強風吹キ其カラ始メ六ナリシモ午前七時ニ至リ其カラセトナ

リ午前十時ニ至リ遂ニ八ト九而逆潮ト強風トニ逆行スルヲ以テ艇体ノ

震動動様更ニ右状スベカキ前部艇体ニ擊觸シタル餘波ハ必ズ船  
 体ノ中央後より上甲板ニ打揚カリ全回航中未ダ出寄ラ試ニガハ荒天  
 ナリレ以荒天ニ水艇左舷舷燈ヲ取リ附ケ入所ロノアイロニビームハ  
 波濤ノ抵抗ニ耐ヘズレテ遂ニ屈折断シ後部上甲板アルハテドレ  
 ヲトシ、堅固ナル木箱ハ其上ヲ取リ去ラシ具下部僅オニ上甲板ニ残  
 留シ其他後部ニ固縛シタル物並ハ殆ニト全ク洗ヒ去ラレタリ

白叢山列島至佐世保

航程四五三哩

航行里程四五五哩

六日午前六時十四分出帆五島大瀬崎ニ向フ七日午後五時五十二分大  
 瀬崎燈台ヲ出帆一渥ニ望ミ之レヨ五島南岸ヲ回タリ八日午前零時  
 四十分佐世保軍港九瀬沖ニ假泊ス今午前七時五十分軍港才  
 一區ニ入り軍港部前ノ浮標ニ繫留ス

天候

叢山列島出帆當日ハ風少シクアリシモ其翌日ヨリ平穏トナリ遂





自吳至

横須賀

航程五三三哩

航行里程五三三哩

十九日午前七時二十六分出艇三原瀬戸ヲ通過シ普通ノ航路ヲ取  
リ二十日午前七時五十分横須賀軍港ヲ出浮標ニ駐留ス左日午前  
八時二十三分軍艦旗及長旒ヲ降ス